

# GTFS-JPアップデートの趣旨について

地域交通DX推進プロジェクト「COMmmONS(コモンズ)」

2026年3月16日 GTFS-JPアップデート説明会  
国土交通省 総合政策局 モビリティサービス推進課

## GTFS-JPアップデートプロジェクトの趣旨

### GTFS(General Transit Feed Specification:公共交通運行情報標準データ)とは何か

GTFSとは、公共交通事業者が時刻表、駅、運賃などの運行情報を経路検索サービスに提供するための標準的なデータ形式です。  
 多様な交通サービスが存在するなか、統一されたデータ仕様で運行情報を提供可能とすることで、経路検索サービス等への情報掲載を円滑化します。

#### 国際標準仕様とGTFS-JPシリーズの関係性



MobilityData(国際非営利機関)が様々な交通サービスで経路検索のための「国際標準仕様」を提案・討議・採択



「鉄道」



「バス」



「デマンド交通」



「フェリー」



「シェアモビリティ」

例)GTFS Schedule、GTFS Realtime、GTFS Fears、GTFS-Flex、GBFS

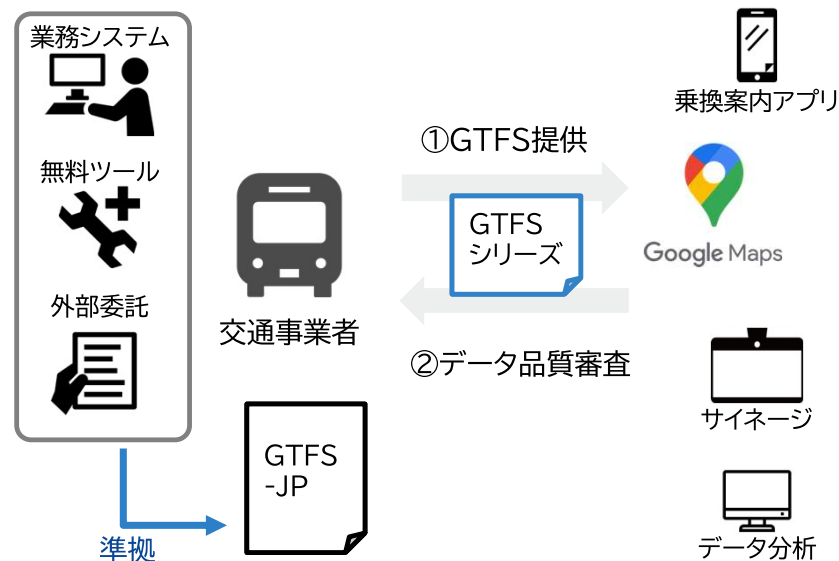


国土交通省が国内の実情を踏まえ、国内事業者等がデータ作成を円滑に行えるよう、「国際標準仕様」のローカライズ仕様として「GTFS-JP(日本標準仕様)」を策定

#### GTFSの作成から経路検索サービス等へのデータ掲載までの流れ

経路検索サービス等へ運行情報を掲載することを希望する交通事業者は、ダイヤ編成システム等の業務システムや無料ツール、外部委託などの手法でGTFSデータを作成し、外部提供を行う。

国内では700以上の事業者・自治体等がGTFSデータを作成しオープンデータ化している。



## これまでの国内標準「GTFS-JP(第3版)」(2021年策定)には様々な課題があった

## 課題① 国際標準との乖離

- 国内標準が国際標準仕様の改訂にキャッチアップできておらず、乖離が発生。
- 最新の技術的知見を国内標準に反映できておらず、日本語の解説が不足。

何を基準にデータを作成すればよいか迷う



## 課題② Googleマップ仕様との不整合

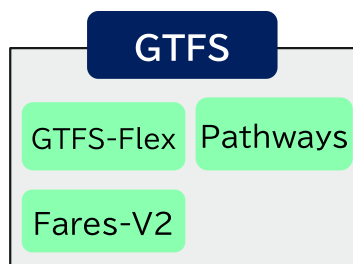
- 主要なデータ掲載先であるGoogleマップ仕様と国内標準が整合していない。
- 国内標準に基づき作成したデータが差し戻されるケースが発生。



Google Maps

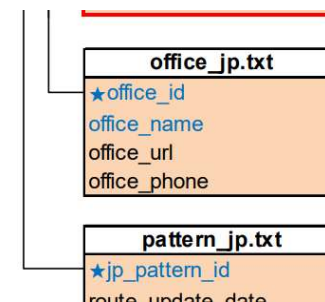
## 課題③ デマンド型交通等に対応していない

- オンデマンド型交通に対応した「Flex」やシェアサイクルのための「GBFS」など最新の拡張仕様や新標準を国内標準に取り込めていない。



## 課題④ データ作成負担が大きい

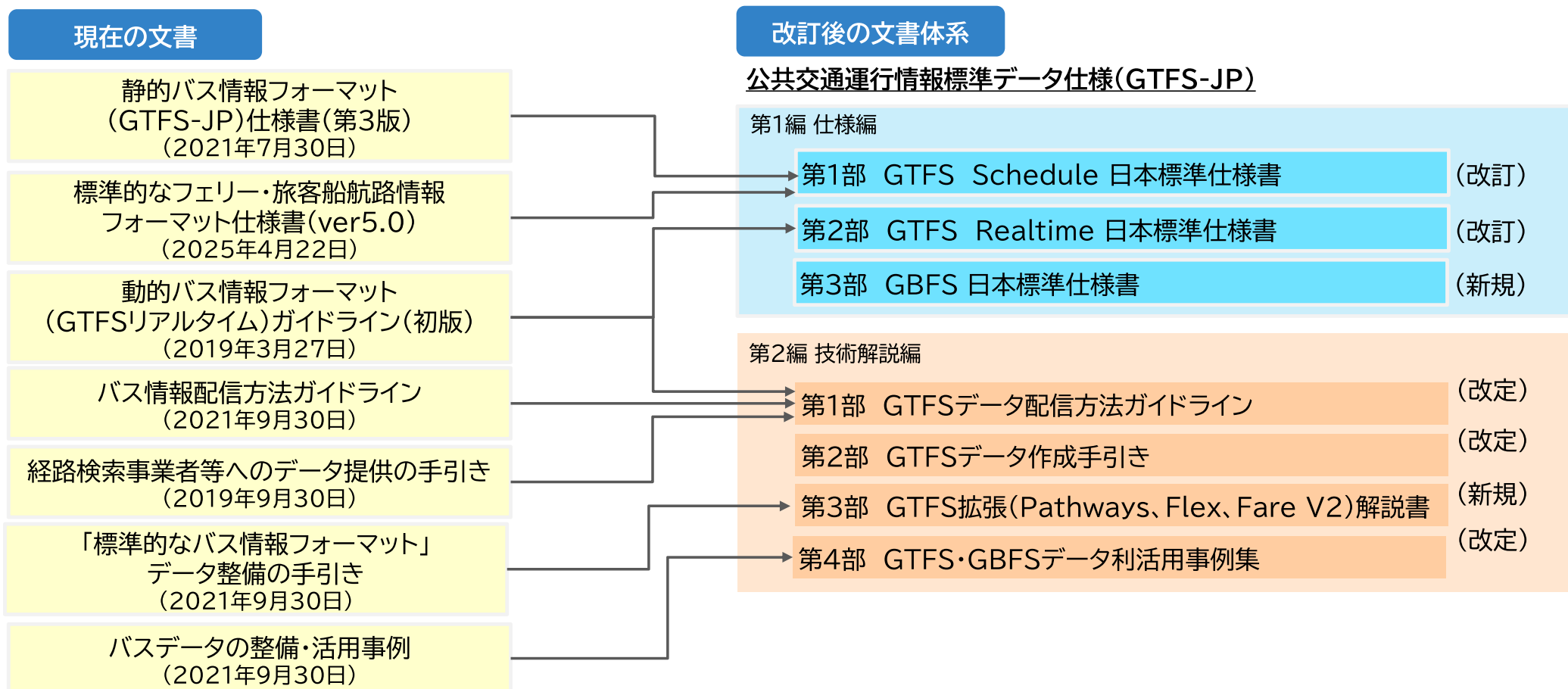
- GTFS-JP初版作成時に採用された日本独自拡張形式があまり使われないまま存置。
- データ作成負担軽減の観点から再整理が必要。



GTFS-JPアップデートプロジェクトの趣旨

## GTFS-JPに関する文書体系の整理

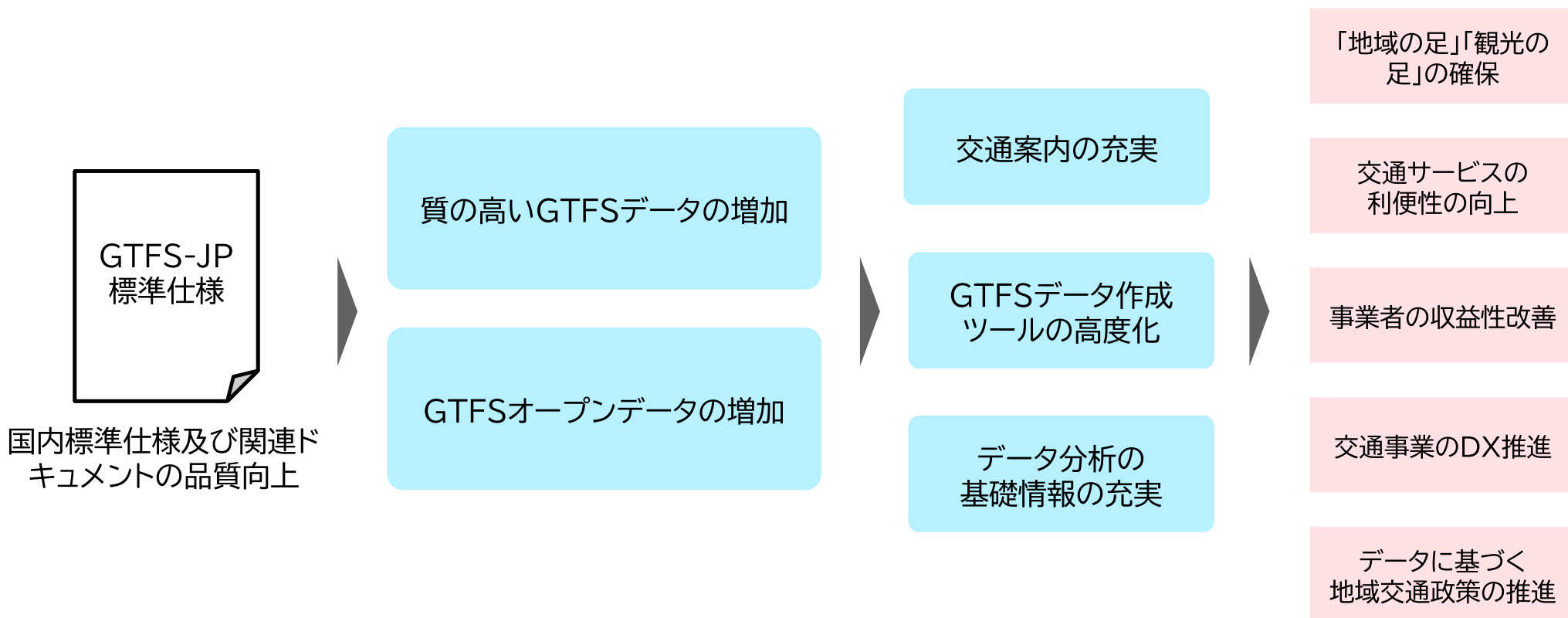
これまでバラバラに作成されてきた、GTFS-JPに関する仕様書、ガイドライン、手引き類を文書を一括して体系化する。



## GTFS-JPアップデートプロジェクトの趣旨

### GTFS-JP改定のねらい

全国の交通事業者等が経路検索サービス等に円滑にデータを掲載できる環境の構築を図ることで、地域住民や訪日客を含む観光客へわかりやすい情報発信の取組を推進。交通サービスの利便性やアクセシビリティの向上を図ることで、「地域の足」「観光の足」の確保を図り、「交通空白」解消を進めます。





# COMmmONS

<https://www.mlit.go.jp/commmmons/>